

ママのお悩み
兄弟げんか、止めたほうがいい？
親はどこまで介入すべきなの？

親にも「忍耐」が必要。 体験から学ばせてあげましょう！



歳が近い・離れている、男の子同士・女の子同士、そんなことは関係なく、ささいなことで兄弟げんかは起こるものです。男の子はもちろん、女の子同士であっても取っ組み合いのけんかになることもあります。このような時、親はどこまで介入すればよいのでしょうか。基本的には、親は介入しないことです。

兄弟げんかをじっと観察してみてください。ついさっきまで、あんなに激しい兄弟げんかをしていたのに、ケロッと仲直りして遊んでいませんか？

ここで、「あなたが悪いのよ!」「お兄ちゃんなんだからガマンしなさい!」と親が介入することで、子供同士の関係がこじれることが多いのです。

家庭・家族は子供が一番初めに接する社会です。子供といえども、兄弟との良い関係を築いていく為はどうすればよいのかを考えさせることが大切です。早く喧嘩をやめさせることではなく、ケンカした後はどうやって仲直りをするか、その後同じようなことが起きた時どうすればよいか、考えさせることです。

そのためには、けんかが終わった後のフォローが必要になります。なぜケンカになったのか、どうすればよかったのか、しっかり聞いてあげましょう。親の役割は、子供の行動すべてを管理し指示することではありません。体験から、どんなことを学ばせてあげるかを考えることです。

ただ、一方的に暴力をふるったりしているのを見つけたら、直ちに止めてください。「この行為はしてはいけない!」ということは、はっきりと伝えたいほうが良いでしょう。

2、3歳の関わり方や加減のわからない年齢のお子さんの場合も、大人が止めに入る必要があります。

とはいうものの、四六時中ケンカが絶えないと、親の方がまいってしまいます。なにを隠そう私も忍耐中の1人。皆さんの胸中お察しいたします(笑)お互いに「忍耐」を合言葉に乗り切りましょう!



profile

山内 喜代美 /
人材育成コンサルタント、個人・企業のブランディング
およびセミナー・講座の企画プロデュースを行う。
現在中学校1年生と小学校1年生の男の子の母。
(株)ドリームワークス <http://dreamworks-seminar.co.jp/>